

推進協資料2-③ 他市比較(令和4年度実施)

活用データ名・指標名	単位	備考	データの値											
			自地域			都道府県平均・合計			全国平均・合計			比較地域		
			大阪府 羽曳野市									大阪府 富田林市		
			2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021
認定率	%	見える化・時系列(各年度年報)	19.9	20.0	19.8	21.7	22.3	22.6	18.4	18.7	18.9	21.2	21.5	21.5
調整済み認定率	%	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報)	19.6	19.1	18.1	21.1	21.1	20.6	17.0	17.0	16.6	20.6	20.4	19.5
調整済み認定率(要介護3~5)	%	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報)	6.7	6.6	6.3	6.9	7.0	6.9	5.8	5.7	5.6	7.0	7.0	6.8
調整済み認定率(要支援1~要介護2)	%	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報)	12.9	12.6	11.8	14.2	14.1	13.7	11.3	11.2	11.0	13.6	13.4	12.8
全国平均等との比較			全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)			設定した仮説の確認・検証方法			問題を解決するための対応策(理想像でも可)					
調整済み認定率は過去3年間、全国平均と比べると高く、大阪府平均及び富田林市(人口数に近い団体として設定)と比べると低い。			調整済み認定率は大阪府全体の傾向として全国平均を上回っている自治体が多いが、大阪府平均、富田林市を下回っており、相対的に介護予防の取り組みが奏功していると推測されるが、制度周知が不足している可能性もある。			「地域包括ケア見える化システム」			府内では相対的に認定率が高いとは言えないが、全国平均と比べると高いという現状がある。介護が必要な方への周知という観点に留意しつつ、現状の取り組みの推進・深化に加え、広く先進事例の収集などを行い、全国平均へ近づけていく。					

			2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021
受給率(施設サービス)	%	見える化・時系列(各年度年報)	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.4	2.8	2.8	2.8	2.6	2.6	2.6
受給率(居住系サービス)	%	見える化・時系列(各年度年報)	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	0.7	0.7	0.7
受給率(訪問介護)	%	見える化・時系列(各年度年報)	3.4	3.5	3.7	5.1	5.2	5.4	2.8	2.8	2.9	4.2	4.1	4.3
受給率(在宅サービス)	%	見える化・時系列(各年度年報)	10.6	10.8	11.1	11.8	12.2	12.8	9.8	9.9	10.2	12.2	12.5	12.8

全国平均等との比較			全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)			設定した仮説の確認・検証方法			問題を解決するための対応策(理想像でも可)					
ここ3年に限らず、大阪府においては施設サービスの受給率が全国より低く、在宅サービスの受給率が高いという傾向が続いており、本市にも当てはまる。居住系サービスについては、大阪府及び全国との間で顕著な差は見られないが、富田林市との比較においては本市が上回っている。			人口10万当たりのサービス提供事業者数を見ると(定員ではないことに留意する必要あり)。 ●介護老人福祉施設(施設サービス)は大阪府において、全国平均を大きく下回っている。羽曳野市の事業者数も全国平均を下回っているが、大阪府及び富田林市を上回っている。 ●特定施設入居者生活介護(居住系サービス)は、富田林市、大阪府、全国平均のすべてを上回っている。特に富田林市との乖離が大きい。			「地域包括ケア見える化システム」			地域包括ケアシステムの構築という観点から見た場合、施設や居住系サービスの比率が低く、在宅サービスの比率が高いことは、在宅生活が継続できていると捉えられれば、一定の評価ができる。しかしながら、訪問介護の受給率において、大阪府及び富田林市を下回りながら、受給者1人あたり給付月額・利用回数において大きく上回っており、有料老人ホームやサ高住の増加傾向を踏まえれば、実態施設化している可能性もあり、サービス提供の実態把握及び検証の検討が望まれる。					

			2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	円	見える化・時系列(各年度年報)	135,305	137,094	138,884	134,961	135,706	137,438	128,829	129,423	130,299	125,687	127,372	129,032
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	円	見える化・時系列(各年度年報)	126,518	128,390	130,237	127,184	127,752	129,705	118,025	118,281	119,152	121,201	122,822	124,525
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	100,767	110,009	112,326	91,870	98,950	102,491	68,919	73,426	75,248	81,116	90,518	94,781
受給者1人あたり給付月額(訪問入浴介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	67,832	61,813	65,779	66,704	66,889	65,815	61,909	62,559	62,640	61,358	61,496	66,658
受給者1人あたり給付月額(訪問看護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	36,803	37,542	37,868	41,525	41,922	42,143	40,500	41,148	41,445	39,773	39,849	39,247
受給者1人あたり給付月額(訪問リハビリテーション)	円	見える化・時系列(各年度年報)	29,108	30,288	32,707	35,415	35,855	36,918	33,241	33,726	34,160	33,534	36,197	39,079
受給者1人あたり給付月額(居宅療養管理指導)	円	見える化・時系列(各年度年報)	16,568	16,587	16,901	16,010	15,990	16,300	11,939	11,888	12,220	14,938	15,187	15,584
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	77,421	80,450	79,978	73,444	76,145	75,839	81,668	85,006	84,961	69,194	75,005	75,203
受給者1人あたり給付月額(通所リハビリテーション)	円	見える化・時系列(各年度年報)	52,021	53,200	53,785	60,060	60,390	60,580	58,520	59,317	59,650	60,428	60,555	55,850
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	107,593	119,321	116,679	103,616	119,262	117,922	96,163	108,510	109,768	128,901	143,419	143,140
受給者1人あたり給付月額(短期入所療養介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	81,363	77,373	76,128	88,947	93,343	96,327	85,707	90,944	92,181	86,764	78,512	85,001
受給者1人あたり給付月額(福祉用具貸与)	円	見える化・時系列(各年度年報)	11,518	11,253	11,339	12,022	12,180	12,287	11,477	11,660	11,778	11,765	11,704	11,798
受給者1人あたり給付月額(特定施設入居者生活介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	177,149	177,908	181,084	181,959	185,288	187,870	176,351	179,263	181,729	173,501	178,842	185,260
受給者1人あたり給付月額(介護予防支援・居宅介護支援)	円	見える化・時系列(各年度年報)	12,747	12,735	13,143	12,997	13,089	13,484	12,666	12,730	13,051	12,626	12,581	12,985
受給者1人あたり給付月額(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	145,615	161,924	159,834	174,857	180,419	183,652	153,625	159,009	161,597	161,342	157,301	156,971
受給者1人あたり給付月額(夜間対応型訪問介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	-	-	-	30,789	33,963	31,638	35,912	39,191	37,505	-	-	-
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型通所介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	100,931	111,101	102,447	107,294	111,932	110,853	114,133	118,031	117,876	116,626	121,715	114,161
受給者1人あたり給付月額(小規模多機能型居宅介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	197,295	199,770	198,297	193,058	196,482	197,711	181,773	184,452	188,920	197,137	194,762	197,217
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	262,269	266,131	266,960	263,500	266,810	268,652	253,116	256,463	258,748	249,916	261,799	260,964
受給者1人あたり給付月額(地域密着型特定施設入居者生活介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	-	-	-	198,999	209,442	210,575	192,277	195,137	198,284	-	-	189,935
受給者1人あたり給付月額(看護小規模多機能型居宅介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	244,078	242,281	247,036	279,471	279,201	281,942	245,778	251,873	257,480	288,370	309,346	316,958
受給者1人あたり給付月額(地域密着型通所介護)	円	見える化・時系列(各年度年報)	70,171	70,072	67,939	65,418	68,671	68,668	73,781	77,098	76,704	70,942	77,791	72,357
受給者1人あたり利用回数(訪問介護)	回	見える化・時系列(各年度年報)	39.1	42.5	43.5	32.0	34.1	35.2	24.0	25.1	25.6	29.7	32.7	34.6
受給者1人あたり利用回数(訪問入浴介護)	回	見える化・時系列(各年度年報)	5.5	5.0	5.2	5.2	5.2	5.0	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9	5.3
受給者1人あたり利用回数(訪問看護)	回	見える化・時系列(各年度年報)	9.0	9.0	9.1	9.6	9.7	9.7	8.7	8.8	8.9	9.5	9.5	9.4
受給者1人あたり利用回数(訪問リハビリテーション)	回	見える化・時系列(各年度年報)	10.2	10.5	11.3	11.8	11.9	12.1	11.4	11.5	11.7	11.5	12.3	13.3
受給者1人あたり利用回数(通所介護)	回	見える化・時系列(各年度年報)	10.1	10.2	10.1	9.6	9.8	9.8	10.7	10.9	11.0	9.2	9.6	9.6
受給者1人あたり利用回数(通所リハビリテーション)	回	見える化・時系列(各年度年報)	5.0	5.0	4.9	5.9	5.8	5.8	5.9	5.9	5.9	6.4	6.1	5.8
受給者1人あたり利用回数(短期入所生活介護)	回	見える化・時系列(各年度年報)	13.0	14.0	13.9	11.7	13.2	13.0	11.7	12.9	12.9	14.7	15.9	15.8
受給者1人あたり利用回数(短期入所療養介護)	回	見える化・時系列(各年度年報)	7.7	6.9	6.8	7.6	7.8	8.0	7.8	8.1	8.2	7.6	6.9	7.3
受給者1人あたり利用回数(認知症対応型通所介護)	回	見える化・時系列(各年度年報)	10.3	11.5	10.2	10.2	10.3	10.3	10.7	10.8	10.9	10.2	10.6	10.5
受給者1人あたり利用回数(地域密着型通所介護)	回	見える化・時系列(各年度年報)	8.7	8.6	8.6	8.7	8.9	9.0	9.5	9.7	9.7	9.2	9.5	8.9

全国平均等との比較			全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)			設定した仮説の確認・検証方法			問題を解決するための対応策(理想像でも可)					
訪問介護について、受給者1人あたり給付月額・利用回数において全国平均・大阪府・富田林市を大きく上回っている。			大阪府・富田林市との比較において、受給率では下回っていることから、一人当たりの区分支給限度額のうちの利用割合が高い利用者が多い可能性や重度者の受け入れが多い可能性がある。大阪府は全国的に見ても、有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の数が多いう傾向にあり、人口が大阪府より多い東京・神奈川を上回っている。また、富田林市との比較において、本市の住宅型有料老人ホームの定員数は3倍以上ある。			○「地域包括ケア見える化システム」 ○令和3年度社会福祉施設等調査 ○サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム ○関連自治体ウェブサイト			住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅入居者などの増加と、一人当たりの区分支給限度額のうちの利用割合や訪問介護の利用量の相関関係については従前から指摘されているところであり、居宅介護支援事業所単位のケアプラン点検や高齢者住まい等対策のケアプラン点検の実施を検討する。					